

公益財団法人ロッテ財団
第6回（2019年度）研究助成事業
「奨励研究助成（A）・（B）」 募集要項

1. 本助成の趣旨

本制度は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象とした助成制度です。自然科学から人文・社会科学にわたる「食と健康」の分野において、申請者の年齢分布や研究形態の多様性も考慮しつつ、独創的・先端的な研究に専念する優れた若手研究者を助成します。

2. 本助成の特徴

- (1) 今年度より、「奨励研究助成（A）」（助成額最大 300 万円）と、「奨励研究助成（B）」（助成額最大 100 万円）の 2 区分の応募枠を設定しました。
- (2) 自然科学、人文・社会科学の広域科学分野からの応募が可能です。

3. 助成金額・研究期間・助成件数

	奨励研究助成（A）	奨励研究助成（B）
一件あたりの助成金額	最大 300 万円	最大 100 万円
研究期間	1 年から 3 年まで選択可能	1 年
年間助成件数	10 件程度	10 件程度

4. 助成対象分野

研究助成事業では、「食と健康」に関する研究において、下記の分野を助成対象とします。
自然科学系、人文・社会科学系問わず、幅広い分野からのご応募をお待ちしています。

2019年度特定課題として、「⑦香気」「⑧発酵」の研究分野を設定していますので、併せてご確認ください。

①食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術

②食品のマーケティング

③食文化

④嗜好性（おいしさ・味覚）

⑤栄養・機能性

⑥食品安全・衛生

【2019年度特定課題】

⑦香気

⑧発酵

⑨その他分野横断的領域

〈分野別課題の参考例〉

※下記はあくまで参考例です。この例にとらわれず、独創的、先端的テーマを歓迎します。

- ①-1 健康の増進を目指す農・水・畜産食品開発の基盤となる新技術の研究
- ①-2 栄養性・嗜好性を損なわない新しい食品流通・保護・加工法の開発研究
- ①-3 副産物の活用に関する新技術の研究

- ②-1 食と健康を志向したマーケティングないしビジネスモデルの研究
- ②-2 食品の流通の研究
- ②-3 食と健康に関わる消費者行動の研究

- ③-1 菓子を含めた嗜好食品に関する食文化・伝統的技術を検証する研究
- ③-2 食と健康の消費文化変容に関する研究
- ③-3 食と健康に関する規制の現状と望ましい政策提言

- ④-1 五感の末梢・中枢における感知・認知機構の解析・応用研究
- ④-2 嗜好の変化に関わる因子・機序の研究
- ④-3 咀嚼・嚥下に関わる食品物性の解析・応用研究

- ⑤-1 栄養素・機能性食品成分の疾病予防効果を事前予知する研究
- ⑤-2 加齢と栄養の関わりや運動と栄養の関わりを検証する研究
- ⑤-3 消化管・膵臓・脳などに発現する味覚受容体の存在意義の解析研究

- ⑥-1 食の安全と衛生の評価法の開発研究
- ⑥-2 食品成分の摂取不足のリスクと摂取過剰のリスクに関する研究
- ⑥-3 食の安全・安心の社会的関心の高まりの変遷に関する調査研究

- ⑦-1 香気成分が身体・精神面におよぼす機能の機序の解析研究
- ⑦-2 食事と香気の相乗効果による機能向上、新たな機能創出等の研究

- ⑧-1 発酵代謝物の生体への健康効果の解析研究
- ⑧-2 機能性素材、呈味素材としての発酵食品の研究

5. 応募資格

- (1) 2018年4月1日時点で原則40歳以下の方。国籍は問いませんが、本人が日本語で申請書を記載できる方。
- (2) 国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関（以下、「所属機関」）に勤務する研究者の方で、博士号取得者または後期博士課程単位取得退学者の方。
- (3) 助成申請にあたり、所属機関長（学部長・研究科長・研究所長等）の承認を得られる方。
- (4) 科研費等の大型助成については、研究課題名の重複や、エフォート管理上、研究費の過度の集中が認められた場合は不採択となることがあります。
- (5) 当財団の「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」および「奨励研究助成（A）」もしくは「奨励研究助成（B）」とは、重複して応募することはできません。

※なお、2018年12月12日(水)の贈呈式に、申請者本人が出席できる場合のみご応募ください。

6. 応募方法

(1) Web 申請

2018年6月15日（金）24時までに、当財団ウェブサイトの「Web 申請」ページより申請を行ってください。

(2) 申請書類

下記①②の書類を「Web 申請」ページからアップロードしてください。

また、下記①②を2018年6月18日（月）12時必着で財団まで郵送してください。

- ① 申請書類　：*当財団ウェブサイトよりダウンロードしたものを各2部郵送
【奨励1】【奨励2】
- ② 論文　　：*原著論文のうち、本申請に関連のある主要論文を各2部郵送。
最大2報まで(【奨励1】〔10〕「業績リスト」中、①、②と優先順位をつけたもの)

(3) 申請書類記入・郵送上の留意点

- ① 申請書類は日本語で本人が記入してください。
- ② 申請書類の記入方法については、必ず「記入要領」の注意事項をお読みください。
- ③ 申請書、論文を郵送する際は、すべて A4 判片面コピー(白黒)とし、クリップで留めてください(ホッチキス不可)。
- ④ 郵送は、配達が可能で証明できる方法(宅配便、レターパック等)により募集期間内に到着するように、余裕を持って発送してください。(封筒のおもて面には「奨励研究助成申請書類在中」と朱書きしてください。)

*募集締切後の申請書記載内容の変更および論文の差し替え等はできません。
また、提出いただいた書類はいかなる場合でも返却いたしません。

7. 応募締め切り

- (1) Web 申請 ……2018年6月15日(金) 24時まで登録完了のこと
- (2) 申請書の郵送 ……2018年6月18日(月) 12時までに財団必着のこと

* (1)(2)ともにそろった段階で正式受理とします。

8. 選考方法・日程

2018年8月30日(木)開催予定の研究助成事業選考委員会にて選考を行い、10月11日(木)開催予定の理事会において助成対象者が決定されます。

9. 結果通知等

最終合否結果を10月15日(月)以降にメールまたは文書で通知します。
なお、採否の理由についての照会には回答いたしかねます。

10. 助成金の使途

助成金の使途は、助成対象者本人のみの研究に直接必要な経費とします（設備備品類、消耗品費、旅費等）。

ただし、以下の費用は対象外とします。

- (1) 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- (2) 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費
- (3) 助成対象者が所属する組織のオーバーヘッド
- (4) 助成対象者への人件費・謝金

11. 助成金の贈呈

(1) 贈呈式

2018年12月12日（水）に実施される贈呈式には、助成対象者本人に必ず出席していただきます。（代理出席をご遠慮いただいております。欠席の場合は、採択を取り消すこともあります）

(2) 助成金振込時期・振込先

2019年3月末までに、助成対象者が4月以降に所属する機関の指定口座に振込みます。（助成対象者の個人口座への振込はできません。）

12. 助成決定後の遵守事項

助成決定後、助成対象者には、主に以下の事項を遵守していただきます。

- (1) 年次研究計画書および年次予算書に基づく研究活動
- (2) 年次報告書および最終研究報告書の期限内提出
- (3) 助成終了時の最終報告会への出席

13. 個人情報の取扱いに関する事項

- (1) 当財団の研究助成への応募にかかわる全ての個人情報は、選考に関する手続き（審査と当財団からの連絡）のみに使用します。
- (2) 助成決定後、当財団に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出し、併せて主として当財団の刊行物とホームページ等に以下の情報を公開することに同意していただきます。
 - ① 助成対象者の氏名、所属機関名、職位、顔写真
 - ② 研究課題名
 - ③ 申請研究の内容
 - ④ 研究期間
 - ⑤ 助成金額
 - ⑥ 研究成果報告
 - ⑦ 財団主催の行事に参加した際、財団で撮影した写真

14. 申請書類郵送および申請に関する問い合わせ先

(1) 申請受付

ロッテ財団ホームページ>「研究助成事業」>「申請はこちらから」より、「マイページ」にログインし、登録・基本情報の入力、および申請書類のアップロードを行ってください。

「申請はこちらから」：<http://www.lotte-isf.or.jp/method.html>

(2) 書類郵送先

〒163-1414 東京都新宿区西新宿 3-20-2

公益財団法人ロッテ財団 研究助成担当 宛 (TEL 03-5388-5564)

(3) 問い合わせ先

メールアドレス：lotte_zaidan@lotte.co.jp

電話でのお問い合わせは受け付けていません。必ずメールでお願いします。

以上